

13 カワヒガイ

(コイ科)

兵庫県ランク:C

Sarcocheilichthys variegatus variegatus

環境省ランク:NT

種の概要

全長12cm程度。河川の中・下流域の流れが緩やかな場所や用水路の砂礫底に生息する。水生動物を主に食べる雑食性。繁殖期は5月から7月で、雌はイシガイ、タガイ、ササノハガイなどの二枚貝の入水管に産卵管を挿入し、外套腔に産卵する。孵化した仔魚はすぐに貝の外に出て2年で成熟する。濃尾平野、琵琶湖流入河川、山口県を除く山陽地方、九州北西部に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川、由良川水系、瀬戸内海側の複数の水系に分布するが、個体数は多くない。

保護上の留意点

タナゴ類と同様に産卵基質がイシガイ科の二枚貝であり、この二枚貝のグロキディウム幼生は主にヨシノボリ類に一時寄生するという複雑な関係の中で本種はその生活史を成立させている。河川改修等で一旦この関係を崩すと回復には長期間を要する。2002年に河川改修の行われた武庫川上流区間では、10数年経った2016年に至っても産卵基質となる二枚貝が回復せず、本種も減少したままである(田中, 2014)。

県内分布

宝塚市、川西市、三田市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加東市、姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、篠山市、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	△
	特殊	○
学術性	孤立	
	極限	
	限界	
	希少	

